

取扱説明書 B 保証書付き

210301

ご使用前に必ずお読みください

※取扱説明書内のイラストは、製品の仕様変更により、実際の製品と若干異なる場合があります。
※デザイン及び仕様にござることは改良のため予告なしに変更することがございます。

接続機器名/ **BTE14X**
バスキー/ **0000** (ゼロを4つ)

BTE142・143

Bluetoothワイヤレスイヤホンマイク

この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用の前に本書(取扱説明書)及び接続するBluetooth機器の取扱説明書をお読みください。

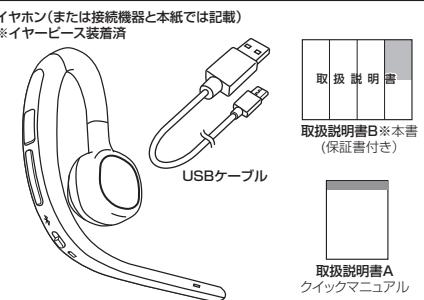
1 はじめに

※本製品はBluetooth対応の携帯電話/スマートフォンなどにお使いいただけますが、本書の中では接続機器を「携帯電話」と記載しております。

●本書ではボタンの押し方を以下のように矢印で示しています。
短く押す 例) 短く1回押す
短く連続で押す 例) 連続で2回押す

… 安全にご利用いただくために

- 以下の警告・注意をお読みの上、正しくお使いください。
警告・注意に従わない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、接続する携帯電話も含めて当社では一切その責任、保証は負いかねます。



⚠️ 警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠️ 注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

右の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明している
禁止 (してはいけないこと)
指示 (必ずすること)

⚠️ 警告

火の中に投下したり、高温(50°C以上)の環境下に保管、放置しないでください。

イヤホンの内蔵充電池を破裂、発火、発熱させる原因となります。お車のダッシュボードも、直射日光の下では高温となるまでの、炎天下の車内への放置はやめてください。グローブボックス内も高温となる場合がありますので、長時間の車内の保管、放置もやめてください。

⚠️ 本製品やUSBケーブルを水に濡らしたり、濡れた手でさわらないでください。

本製品は防水機能はありません。雨、雪、霧などの状況下において屋外では使用しないでください。水没した状態でご使用になられた場合、故障や火災、発熱、感電、故障、けがなどの原因となります。また、充電端子が雨や雪、汗など水分に触れた場合は、乾いた布で水分を拭き取り、よく乾燥させてから使用してください。機器内部などで水が入る、火災、発熱、感電、故障、けがなどの原因となります。

⚠️ 針を刺したり、ハンマーで叩いたり、強いショックを与えないでください。

イヤホンの内蔵充電池を破裂、発火、発熱、液漏れさせる原因となります。

⚠️ 分解、改造、後加工、暴虐な暴力をしないでください。

火災、感電、故障、けがなどの原因となります。また、イヤホンの内蔵充電池を破裂、発火、発熱、液漏れさせる原因となります。また分解・改造して直接接続、傷がついた状態でのご使用、USBケーブルをきつづく結ぶなどの行為は故障、事故の原因になるので、絶対にやめてください。

⚠️ 走行中の運転者による携帯電話及び本製品の操作、ご使用は絶対にやめてください。

運転者による携帯電話の操作は事故などの原因となります。また、本製品の連続的な操作、取り扱い、USBケーブルの抜き差しなどの操作も運転操作の妨げになりますのでやめてください。

⚠️ 小さなお子様(乳幼児)やペットなどに与えたり、接触できる場所に放置しないでください。

小さな部品を飲み込むなど、事故のおそれがあります。また、本製品には電池が内蔵されていて大変危険です。

⚠️ USB充電器は出力5V1A以上の製品をご使用ください。

指定外の電源、電圧で使用すると、感電、発火、発熱、故障、けがの原因となる可能性があります。また、充電器側の間違った使用方法や仕様品質が原因による故障や火災、感電などの事故に関じて、弊社では責任を負いません。

⚠️ 電気製品または高周波無線機器の電源を切ることが定められている場所(病院、交通機関、一部の工事現場など)では、各施設の指示に従ってイヤホンの電源をオフにしてください。

⚠️ 本製品と同じ2.4GHz帯を使用した機器のまわりでは使用しないでください。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、各種無線局が運用されています。本製品を使用する前に、近くでこれらの機器の使用及び各種無線局が運用されていることを確認してください。

⚠️ 飛行機に搭乗する際は、航空会社の方針に従ってください。

航空機内でのご使用に際しては、各航空会社によってBluetoothを使った通信機器製品が使用できない場合があります。その場合は指示に従って取り扱ってください。使用できない場合は搭乗前に予め電源を切ってください。

△ 注意

○ 本製品や付属品をエアバッグ近くなど危険が想定される場所に放置、保管しないでください。
● 重いエアバッグの拡張範囲に本製品や付属品を放置すると作動時に影響が出たり、事故、けがの原因になります。

○ 極端な低温(0°C以下)での保管、放置はやめてください。

● 製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

○ 本体並びにDC充電器を屋外(車外)や湿度の高い場所、高温または低温の状況下で使用しないでください。

● 製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

○ ポケットやバッグに収納するときは、ケーブルなどを繋がず、イヤホンの電源をオフにしてください。

● 衝撃や無理な力を故障の原因になったり、メインスイッチが押されて、誤って通信をしてしまうおそれがあります。

○ クリーニングするときに研磨剤入りの溶剤は使用しないでください。

● 本製品に傷がついたり、表面の塗装部がはがれるおそれがあります。

○ 長期間使用しない場合は、携帯電話とのペアリングを解除して電源を切り、高温や低温を避け、乾燥したホコリの少ない場所にケーブルや充電器を繋がす保管してください。

● 回転させたり、斜めにして無理に抜くと本機や充電器破損の原因になります。

○ USBプラグを抜く際は、必ず水平にゆっくり抜いてください。

● 回転させたり、斜めにして無理に抜くと本機や充電器破損の原因になります。

○ 付属しているケーブル以外で、イヤホンを充電しないでください。

● 製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

○ イヤホンのLED光源を直視しないでください。

● 自己の健康をそこねるおそれがあります。

… 取扱い上のお願い

● あたっては各都道府県や各地域の条例に従ってください。

● 本製品の使用中に起こった、メモリーダイヤル及びデータの消失や通信不能などの付随的保証は一切負いかねます。

● 本製品を含むBluetooth機器同士で通話をするとき、通話開始時に音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。

● 本製品は充電中の待ち受けが可能となっていますが、内蔵充電池の寿命を早めるおそれがありますので、必要時以外はなるべく電源をオフにしてください。

● イヤホンにUSBケーブルをつないだまま、耳に付けてご使用になるのは絶対にやめてください。

… Bluetoothについて

● Bluetoothは、携帯情報機器向けの無線通信技術です。接続機器とケーブルを使わずにワイヤレス接続、音声やデータをやりとりすることができます。

… 本製品について

● 本製品はBluetooth Version 5.0 Class2に準拠、適合しております。上位互換性から、Ver.4.0、3.0や2.1の携帯電話やBluetooth内蔵通信機器とも接続してご使用になりますが、当社で発表する適合機種以外の携帯電話とのご使用は保証しておりません。

● 適合可能な携帯電話に関する情報は、当社Webサイト(記載の適合情報にてご確認ください)。

● 付属のイヤーピースは使用状況によって寿命が著しく異なります。ご使用前の不良や不具合を除き、製品保証の対象にはなりません。また、充電池の劣化による通話/スタンバイ時間の短縮は製品保証の対象にはなりません。また、充電池の交換できません。

● 内蔵充電池は消耗品ですので、充電池の劣化による通話/スタンバイ時間の短縮は製品保証の対象にはなりません。また、充電池の交換できません。

● 仕様および外観は、改良のため予告なしで変更する場合がありますので、ご了承ください。

2 使い方の説明

お買い求めいただいた後、ご使用前に必ずやっていただくこと

① 本製品イヤホンを充電する

ご使用の前にイヤホンを充電して、満充電にしてください。(→4.充電する)を参照)

② お手持ちの携帯電話やスマートフォンと本製品イヤホンをペアリングする

イヤホンは開封時そのままではご使用いただけません。お手持ちの携帯電話やパソコンとイヤホンをお互いに登録設定することでセキュリティが確保され無線通話が可能となります。この設定をペアリングといいます。(別紙、<取扱説明書A>「@ペアリングをする」を参照)

3 製品仕様

… 主な仕様

項目	仕様	備考
Bluetooth仕様	Version 5.0 Class2	
HSP,HFP,A2DP,AVRCP		
周波数	2.4 GHz スペクトラム	
マルチポイント	○ (2台まで対応)	※3
使用可能距離	見通し 10 m	※4
電池形式・容量	リチウムポリマー電池	
充電時間	約 2 時間	※1
通話時間	最大約 10 時間	※1
充電端子	microUSB	
接続機器表示名	BTE14X/BTE142/BTE143共通	※5
スタンバイ時間	最大約 300 時間	※6
	0000 (ゼロを4つ)	

*1 使用状況、接続相手機種、使用環境、動作条件などによって著しく変わることがあります。

*2 イヤーピースを装着していない状態の数値です。(例)片耳イヤホン突起部を含まないイヤホン本体の厚みです。

*3 マルチポイントする2台の端末の組み合わせや接続順によっては、機能が制限される可能性があります。

*4 電源オフにしてどちらまでの端末機器とのペアリング履歴を記憶できます。(同時に待ち受けができるわけではありません)

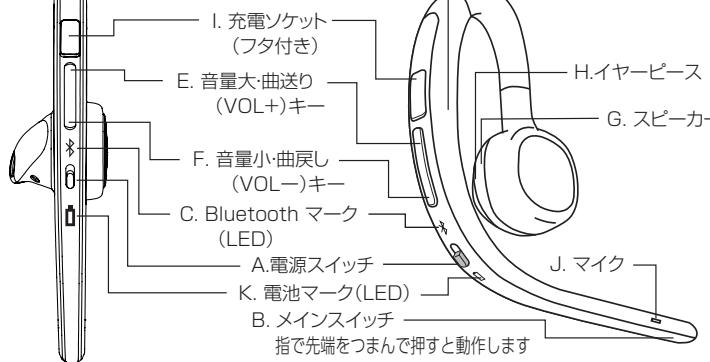
*5 接続機器表示名は、携帯電話や他のBluetooth機器でサーチ(検索)された際に表示される名称です。

*6 パスキーコードは工場設定のコードです。携帯電話とペアリングする際に必要となる場合があります。

… 対応プロファイル

- HSP(Headset Profile)/イヤホンプロファイル
- HFP(Hands-Free Profile)/ハンズフリープロファイル
- A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)高音質オーディオ配信プロファイル
- AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)AV機器リモートコントロールプロファイル

… 外観仕様



名称

名称	機能・説明
A. 電源スイッチ	電源のON/OFFに使用します
B. メインスイッチ	主に通話操作、音楽再生などに使用します
C. LEDランプ(Bマーク)	青色のLEDを内蔵、イヤホンの状態を表示します
D. 充電池(内蔵)	リチウムポリマー電池(充電池の交換はできません)
E. ポリュームアップ(VOL+)	主に音量を大きくする時などに使用します
F. ポリュームダウン(VOL-)	主に音量を小さくする時などに使用します
G. スピーカー	通話やビーピー音、音声案内の内のスピーカーです
H. イヤーピース	回転させて音の聞こえやすい角度を調整できます

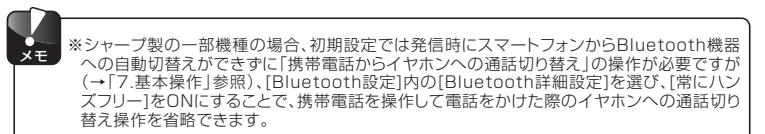


…代表機種のペアリング手順

※必ず携帯電話・スマートフォンの取扱説明書を読んでから手順をご確認ください。携帯電話・スマートフォンのソフトウェアバージョンアップにより方法が異なる場合もあります。
※[BTE○○○]には商品の品番(数字)が表示されます。(本製品はBTE14X)
※手順は概略ですので一字一句正確なものではありません。また、確認及び選択時の決定キー操作などが省略されている場合があります。



※記載のない機種につきましては、弊社ホームページ及びご使用の携帯電話機の取り扱い説明書をご確認ください。



7 基本操作 ※取扱説明書Aの③基本操作もご確認ください

電源ON(電源を入れる) → (電源OFF状態から) 電源スイッチをONにする



音声案内「電源が入りました」

→ [LED] 青く3~4回フラッシュ点滅し、約8秒ごとに青1回点滅

音声案内「接続完了」

→ [LED] 約8秒ごとに青1回点滅(約10分間継続)その後青くフラッシュ点滅(約3分間継続)

→ ペアリングされていない初期状態

→ [LED] 青くフラッシュ点滅(約3分間継続)

電源OFF(電源を切る) → (電源ON状態から) 電源スイッチをOFFにする

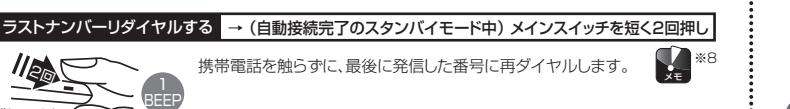
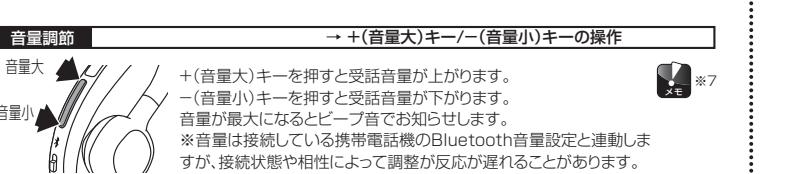
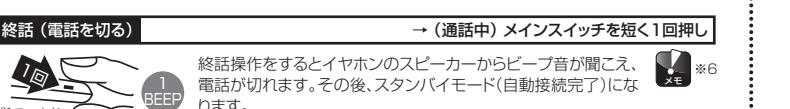
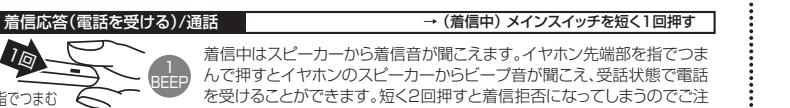


音声案内「Power off」

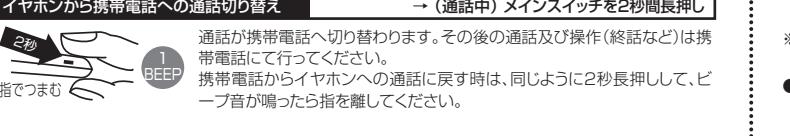
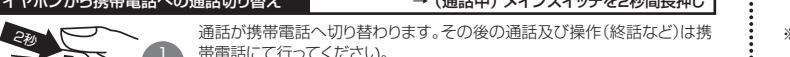
着信

着信中はスピーカーから着信音が聞こえます。

※一部、携帯電話側で設定が必要な場合があります。※着信音を変更することはできません。



ラストナンバーリダイヤルする → (自動接続完了のスタンバイモード中) メインスイッチを短く2回押す



イヤホンから携帯電話への通話切り替え → (通話中) メインスイッチを2秒間長押し

